

行政視察等報告書（個人用）

令和1年 8月 15日

知立市議会議長 様

報 告 者	杉山 千春（公明党）
日 時	令和1年8月9日（金）10～12時
視察（研修）場所	愛知県春日井市 春日井市役所
目 的	「子育て支援の取り組みについて」
<p>調査事項 子育て支援の取り組みについて</p> <p>(1)、 「子はかすがい、子育ては春日井」宣言を行った背景 目的・経緯・必要性 暮らしやすいという定住価値に結びつく市独自の地域ブランドストーリーを意識的に作り出すことが必要。移住定住促進に関するターゲットを子育て層に決定し平成28年3月24日に子育て施策の充実とPRを兼ね「子はかすがい、子育ては春日井」を宣言し、全国的に発信した。</p> <p>(2)、 子育て支援施策全体の概要と主な特徴について</p> <p>① 新かすがいっ子未来プラン(H27～31) 基本理念 子どもは地域の宝、子どもも親もいきいきと暮らまち 基本方針 1、「子育て支援が充実したまち かすがい」 ⇒ 妊娠出産への支援（12事業） ⇒ いきいきと子育てをするための支援（37事業） ⇒ 就学前児童の教育・保育の充実（20事業） 基本方針 2、「すべての子どもの健やかな育ちを目指すまちかすがい」 ⇒ こころと体の成長のための支援（116事業） ⇒ 子どもの安全・安心の確保（16事業） ⇒ 特に配慮が必要な子どもへの支援（45事業）</p> <p>② 特徴ある子育て支援 ○産前産後ケアの充実 「妊産婦ケア（さんさんルーム）（産後ケア入院）「桶谷式乳房外来」 ○母子保健から子育て支援までを子ども政策課で切れ目なく 平成21年度に青少年子ども部を新設するとともに、母子保健業務を子ども政策課に移管 ○子育て支援団体と連携した子育て支援 「子育て支援情報発信サイト ハッピーママズ」</p>	

「子育て家庭訪問支援事業 ノックノックホームサポート」
「ママインターン」「ママの文化祭：NPO 法人の自主事業」

(3)、さんさんルームの実績の経緯、運営のための体制づくり

これまでの実績・成果について

☆春日井市民の妊婦または、1歳未満のお子さんがある母親が対象

- ・育児疲れがあり、ゆっくり休みたい
- ・ご家族などから育児の支援が受けられない
- ・育児不安があり相談がしたいなど

実績① 利用者について 平成 30 年度

人数 延べ 895 組 (実績 292 組)

- ・妊婦延べ 31 組
- ・産婦延べ 864 組

利用者の声*ゆっくり休むことができ、癒されました

*実家が遠くて友人もいないので、心のより処として利用

*リフレッシュできて、子どもにやさしく接することができた

スタッフから

1 日一緒に過ごす、健診などでは発見できない母親の日常での姿が見えてくる

(4) 児童の放課後の居場所づくりに関する取り組みを充実させるための工夫
市の考え方として、市(青少年子ども部)と教育委員会が連携し、互いが
補う形で放課後の居場所を確保していく。

放課後の居場所

- ・授業のある日
 - ① 公設児童クラブ 34 か所
 - ② 民間児童クラブ 12 か所
 - ③ 放課後なかよし教室 (全 37 校)
- ・夏休み
 - ① 子どもの家 子育て子育て総合支援館児童クラブ (公設 34 か所)
 - ② 民間学童保育 (12 か所)
 - ③ 子どもの家の夏季限定利用
 - ④ サマースクールかすがい (5 校)

【所感 知立への反映】

春日井市の様々な子育て支援を学ばせてもらい、定住促進にあたる姿勢はどの市町も思いは、いっしょということ。そこで施策の何に違いがあり、どう魅力的なまちづくりや生活しやすい街にしようとしているのか。

春日井において、子育て世代に特化した多くの支援が目玉を引く。

高蔵寺ニュータウンなど経済成長著しかった時代に作られた町、そこにあったまちづくりから、新たな世代を定住させるための複合施設づくりや、よびこみキャッチフレーズなど、知立市に反映させたい施策等、視点を新たにしました。

-
- ※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。
 - 報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。